

**【愛玩調教】若頭・伏見の歪んだ純愛
～親に売られた生贄の初夜、極道の剛腕に抱き潰される独占終身契約～**

サンプル（一部抜粋）

（ライター・煙を吐き出す音）

「...そんなに震えるな。
吸い殻を押し付けたりはしねえよ。
お前はもう、俺の大事な商品なんだからな」

「待て。...これはなんだ？
古い傷痕が残っている。」

「...なるほどな。
お前も俺と同じように...愛されずに育ったわけか」

（手を握る音・ベッドのギシ音）

「...経験は？」

「...ないのか。
...つくづく可哀想なヤツだ。」

「初めてをこんな年上のヤクザに奪われるなんてな。」

「...もっと力を抜け。何も考えるな。」

（深いリップ音・耳元で囁く）

「...イけ」

（激しく潮を吹く音）

「...すごいな。開発のしがいがありそうだ。
チカ、お前はもう俺の物なんだ。傷がつくと困る。」

「...いや、自分の手を握り締めるくらいなら、俺に抱きついてろ。
俺なら...いくら傷が増えても構わない」

（ぎゅっと強く抱きつかれる音）

「...悪い、もう我慢出来ねえ。
痛くても.....耐えてろ」

（激しい肉体衝突音・シーツの擦れる音）

「お前が悪いんだぞ。乱暴にするつもりなんて無かったのに。
...もっとだ。もっと壊してやる」